

## 指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	市民文化スポーツ局文化部文化企画課
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日

## 1 指定概要

施設概要	名 称	北九州市立百三十銀行ギャラリー	施設類型	目的・機能
			I	— ④
	所 在 地	北九州市八幡東区西本町一丁目20番2号		
	設置目的	演劇、音楽その他の利用に供することにより市民文化の向上に資する。		
利用料金制		<input checked="" type="checkbox"/> 非利用料金制    ・ <input type="checkbox"/> 一部利用料金制    ・ <input type="checkbox"/> 完全利用料金制 <input type="checkbox"/> インセンティブ制    有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> ペナルティ制    有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無		
指定管理者	名 称	旧百三十銀行ギャラリー管理運営共同事業体 代表企業 公益財団法人北九州活性化協議会		
	所 在 地	北九州市小倉北区古船場町1番35号 北九州市立商工貿易会館6階		
指定管理業務の内容		① 施設の管理運営 ② 貸館業務 ③ 自主事業の実施		
指定期間		平成31年4月1日～令和6年3月31日		

## 2 評価結果

評価項目及び評価のポイント		配点	評価 レベル	得点
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み		50		36
(1) 施設の設置目的の達成		35	3	21
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。				
② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。				
③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。				
④ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。				
[評価の理由、要因・原因分析]				
【利用件数、来館者数】				
		目標	結果	達成率
平成30年度	利用件数	60件	34件	56%
	稼働率	70%	23%	32%
	稼働日数	251日	84日	33%
	来館者数		3,389人	
令和元年度	利用件数	40件	34件	85%
	稼働率	35%	34%	97%
	稼働日数	126日	122日	96%
	来館者数		5,258人	
<p>※新型コロナウイルス感染症拡大に伴う利用中止：2件</p> <p>① 施設の管理運営は適切に行われている。利用件数は、目標値には届かなかったものの、前年度と同水準の利用件数を維持している。指定管理者による自主事業や、イベント誘致により、利用件数を維持したことは評価できる。 市民に展示会や講演会など文化活動発表の場を提供したことにより、施設の設置目的に沿った一定の成果が得られた。</p> <p>② 共同事業体のメンバーのネットワークを生かした、効果的な営業・広報活動がなされている。</p> <p>④ 西日本工業大学の学生の協力により、施設の歴史解説を加えた新リーフレットを作成し、市内企業やその他の団体へ利用促進のためのPRツールとして使用した。 また、ホームページをリニューアルし、施設の予約状況や催事の開催予定がリアルタイムでわかるようにするなど、利用者の利便性向上に努めた。 新聞社やテレビなどの取材を積極的に受け、施設の知名度向上を図った。</p>				

<b>(2) 利用者の満足度</b>				
① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。		15	5	15
② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。				
③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。				
④ 利用者への情報提供が十分になされたか。				
⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。				
[評価の理由、要因・原因分析]				
【アンケート結果】				
		目標	結果	
平成30年度	アンケート回収率	100%	100%	
	総合評価「満足層」	100%	100%	
令和元年度	アンケート回収率	55%	68%	
	総合評価「満足層」	80%	100%	
<p>① 利用者の総合的な満足度は100%と高く、施設利用者の満足が一定程度得られている。</p> <p>②③ 利用者からの意見・クレームのうち、即座に対応が必要なものは速やかに対応し、今後の再発防止策を講じている。</p> <p>④⑤ 利用者への情報提供として、ホームページ上で施設の予約状況や催事の開催予定がリアルタイムでわかるページを作成し、利用者の利便性向上を図った。 また、利用者が作成するチラシ等のイベント案内をページのホームページのトップ画面から検索できるようにするなど、サービスの向上に努めた。</p>				
<b>2 効率性の向上等に関する取組み</b>		<b>30</b>		<b>18</b>
<b>(1) 経費の低減等</b>				
① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。		20	3	12
② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。				
③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。				
[評価の理由、要因・原因分析]				

【指定管理料】

	平成 30 年度	令和元年度
予 算	6,073 千円	6,290 千円
決 算	6,073 千円	6,290 千円

※令和元年 10 月より消費税率改定のため前年度より微増

【光熱水費】

	平成 30 年度	令和元年度
予 算	545 千円	544 千円
決 算	495 千円	493 千円

- ① 施設の管理運営に関し、効率的な運営がなされている。  
光熱水費について、空調機器のこまめな調整などを行い電力量の削減を行い、経費の節減に努めた。
- ②③再委託業務については、地元企業を基本に再委託先を選定し、見積もり比較を行って経費節減に努めた。また、清掃のうち、施設職員で対応可能なものは再委託業務から外すなど、仕様の見直しを行い、コスト意識及び改善意識をもって業務に臨んでいる点は評価できる。

(2) 収入の増加

① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。	1 0	3	6
-------------------------------------	-----	---	---

【評価の理由、要因・原因分析】

【使用料収入】

	平成 30 年度	令和元年度
目 標	1,200 千円	500 千円
実 績	591 千円	410 千円
達成率	4 9 %	8 2 %

- ① 使用料収入は前年度より 181 千円減少している。減免対象事業の増加（平成 30 年度 0 件、令和元年度 5 件）や新型コロナウイルス感染症拡大に影響による利用中止もあって、目標の達成はできなかった。  
新リーフレットの制作が遅れ、市との共催事業以外の利用拡大のための十分な広報活動を行うことができなかったことも一因と考えられる。

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取り組み 2 0 / 1 2

(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況

① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。	1 0	3	6
② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。			
③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。			

【評価の理由、要因・原因分析】

- ① 共同事業体による管理運営の役割・責任分担等を明確にし、問題が発生した場合は相互に協議を行って解決を図るなど、適切な管理運営がなされた。
- ② 職員の資質・能力向上として毎月職員研修会を開催している。また、県内外で開催される展示や講演会などに出席し、最新の情報を事業へ反映させているほか、人脈作りに努めている。
- ③ 地域の住民や関係団体等との連携として、東田地区及び八幡駅前地区で開催されるまちづくりイベント等に参加したり、東田地区文化施設と連動した自主事業を開催するなどの活動を行っている。

**(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など**

- ① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。
- ② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。
- ③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。
- ④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。
- ⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。
- ⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。
- ⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。

1 0      3      6

**【評価の理由、要因・原因分析】**

- ① 施設利用者の個人情報について、関係法令を遵守の上、細心の注意の下、適切な管理を行っている。また、利用申請書を取り扱う管理責任者を館長とし、その他職員が取り扱う場合の管理監督を適切に行っている。個人情報の記載されている書類は利用申請書のみであり、事務所内の施錠可能なキャビネットに保管し、館長が管理している。
- ② 利用申込は平等に取り扱い、利用者の立場に立ったサービスを提供している。
- ③ 該当なし
- ④ 使用料の徴収及び市への納付について、トラブルや不適切なものは無かった。また、月例報告など各種報告書も適切であった。
- ⑤ 毎月開催している職員研修会において対応の確認を行っている。また、状況に応じて救急対応できるよう、最低限の薬品を備えている。
- ⑥ 危機管理マニュアルを作成し、職員研修会にて周知・確認を行っている。
- ⑦ 令和元年度は事故や災害の発生はなかったが、災害時の備えとして棚の補強支えの取り付けや、避難通路の確認などを行っている。

**【総合評価】**

合計得点	6 6	評価ランク	C
------	-----	-------	---

**【評価の理由】**

- 共同事業体のメンバーの強みを生かした地道な営業活動や自主事業による入館者数の増加などは評価できる。今後は施設の設置目的である、「演劇、音楽その他の利用に供

することにより市民文化の向上」の達成のため、より一層利用の拡大に努めてもらいたい。

**[北九州市指定管理者の評価に関する検討会議における意見]**

適正に評価されている。

今後も、市と指定管理者と協同で、市民サービスのより良い向上に向けて連携していただきたい。